

IdP, SP構築状況と SSOへの期待



山口大学・大学情報機構・メディア基盤センター

佐伯 徹郎, 永井 好和, 久長 穰, 王 躍

YAMAGUCHI UNIVERSITY

2008/11/10

実験状況

■ IdPとSPの構築:

◆ 山口大学IdP

<https://idp.cc.yamaguchi-u.ac.jp/idp/login.jsp>

◆ 山口大学SP (Plone)

<https://sp.cc.yamaguchi-u.ac.jp/>

2008/11/10

インストールに苦労した点

- 手順書にいくつかの誤りが含まれていた。
IdP手順書 (Ver.1.2) はかなり改善されているが、SP手順書 (Ver.1.2) の方は誤りがまだ多いようだ
- 設定項目が多くて、確認方法はなかった。
設定ミスが起こりやすい
- 設定ファイルの意味についての説明は少なかった。
混乱してしまう

確認できたこと

- 山口大学SP (<https://sp.cc.yamaguchi-u.ac.jp/secure/phpinfo.php>) でのテスト
- 山口大学SP (Plone) へのログイン (山口大学IdP)
- NII DSとの連携
- NIISP (Plone1, Plone2, CiNii, Moodle) との連携
- 産業技術大学院大学 SP (Multiple Pointers System) などの連携
- シングルサインオンの確認
- 山口大学のIdP, SPのメタデータ自動更新

今後への期待(展望)

- インストールは ports , rpm化
- アクセス制御の例 (Apacheベースなど)
- ユーザ属性の整合性 (属性セマンテクス)
- 連携認証の共通ポリシー
- IdP: クライアント証明書による認証 (大学向け
証明書スタートパックの利用)
- 提供できるサービスの展開